

朝七小だより

学校教育目標 『心豊かにたくましく生きる児童の育成』
○考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

朝霞市立朝霞第七小学校
平成29年12月1日 <12月号>
児童数 819名 (11/29現在)
〒351-0036 朝霞市北原2-6-1
TEL 048-472-9172 FAX 048-476-1327

E-mail 7shou@asaka-c.ed.jp
URL <http://www.asakadai7shou.city-asaka.ed.jp>

温かい子育ての輪を

-子どもとともに-

たにい きしん
校長 谷井 喜信

私たちの目を楽しませてくれた校庭の木々も、色づいたその葉を落とし、冬ごもりの準備を始めました。その落ち葉を掃いて、学校の周りをきれいにしてくださる地域の方がいらっしゃいます。温かいお心遣いにふれる中で、地域の学校として多くの皆様に支えられていること、大変有り難く思います。また七小まつりや音楽朝会、先日の持久走記録会・懇談会には、多数の保護者の皆様にご来校いただき誠にありがとうございました。

今日から師走。朝夕の寒さが増し気温差も大きくなってきています。先月からインフルエンザの患者数が増加し、今後、県内における流行の拡大が予想されるとの報道発表がありました。感染を予防する上で、「外出後の手洗いやうがいの励行、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取」などにご留意くださいますようお願いいたします。

さて、「学校では知育を、家庭では養育を、地域では徳育を」と言われます。学校・家庭・地域が知恵と力を合わせて互いに学び合い、温かい子育ての輪を広げていくことが大切です。子育てに関して興味深い話がありましたので2つばかり紹介いたします。



【持久走記録会】

- ◆ 「人生というマラソンを走る限りは、早い段階で小さなトラブルを経験し、それを自力で脱することが何のものにもかえられない良い経験となる。そういう失敗をしない者は人生の後半において、ちょっとした失敗をすると、挽回できなくなる。用心しなくてはならないのは、初めが順調で、失敗の味を知らない者である。試験に一度や二度失敗したくらいでは苦勞とは言えない。試験では合格者より不合格者の方が多いのが普通である。成功するのも楽ではないが、苦勞するのももっと難しい。全般に豊かになった社会で、苦勞が成功のもとであることを自覚するのが、格段と困難になっているのは皮肉である。」

〔外山滋比古（とやま しげひこ）著 傷のあるリンゴ（東京書籍）〕

- ◆ チョウの卵は、生みつけられさえすれば幼虫となり、さなぎとなり、やがて美しいハネを広げるだろう。だが、人間はそうはいかない。一人の小さいのちが一人の人間らしい人間になるには、子ども自身とその周辺の人たちの大変な努力が必要だ。人間は生まれながらにして人間であるのではなく、人間に育て上げられるのだといえよう。

「子どもとともに」という美しい言葉がある。この言葉の意味が、ややもすると私たち教師や親が子どもに近づき、子どもの心に近寄ることに力点が置かれたきらいがありはしないだろうか。

教育は子どもに近づき、子どもを理解すると同時に、子どもを高いレベルに引き上げる営みである。人間に育て上げる営みである。子どもと格闘し、子どもと対決し、早く「俺を乗り越えろ」と絶えず励まし高める営みでもある。「子どもとともに」というソフトな言葉が、子どもと仲よしになったり、ともに笑いともに泣いたりすることのみに受け取られたところに、私は教育の甘い一面を見る。教育の世界は、厳しくて、温かくて、そして切ない世界である。厳しさを伴わない温かさを、私は信用しない。子どもとともに生きるということは、今を生きるということのみを意味しない。教育の営みは、子どもがこれから生きていく未来を保障する役割を担っている。子どもたちが、やがて大人になり、社会の荒波に直面したとき、たくましく適応し生きていくための、生きて働く本当の意味でなくてはならない。そう考えると、教育は厳しいものにならざるを得ないのである。

厳しさとは、もちろん教師や親の権力によって、子どもを抑え込むことではない。子どもに迎合したり、妥協したりせず、首尾一貫した生き方を示すことが大切である。

変化の激しい今日の世界の中で、私たち大人自身が自信を失いかけてもいる。だが、「私はこう思う」「こう生きてきた」でいい、人間の心について生き方について、子どもに語りかけることが何よりも大切なことであると、私は思っている。これは「押しつけの教育」ではない。「自分を出す教育」である。

〔前愛媛県市町教育委員会連合会会長：金本房夫氏（金本氏が校長時代に出された通信からの抜粋）〕

12月の行事

日	曜	学校行事等
1	金	
2	土	PTA 落ち葉掃き(9:30~)
3	日	
4	月	備蓄米配付日(4,6年)
5	火	音楽朝会(2年) 人権教育主任研修会授業研究会(1年2組) 第五中学校3days チャレンジ(社会体験)
6	水	委員会活動 人権の花移植(美化環境委員会) 2年町たんけん(1,2組) 図書貸出終了日 第五中学校3days チャレンジ(社会体験)
7	木	生活科主任授業研究会兼保幼小連絡協議会 (1年3組) 2年町たんけん(3,4組) 第五中学校3days チャレンジ(社会体験)
8	金	安全点検日
9	土	P落ち葉掃き予備日(9:30~)
10	日	
11	月	
12	火	図書返却終了日
13	水	冬休み図書貸出期間(~20日/4冊まで)
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	給食終了日
20	水	4時間授業(12:30頃下校)
21	木	4時間授業(12:30頃下校)
22	金	第2学期終業式 3時間授業(11:50完全下校)
23	土	(祝日) 天皇誕生日
24	日	
25	月	冬季休業日(1月7日まで)
平成30年1月		
8	月	(祝日) 成人の日
9	火	登校指導 第3学期始業式 3時間授業(11:50完全下校)
10	水	登校指導 給食開始日(通常授業開始) 身体計測 5,6年 安全点検日

学校評価 保護者アンケート

ご協力ありがとうございました。お陰様で、93.6%の回収率となりました。自由記載欄には多くの励ましのお言葉をいただき職員一同励みとさせていただきます。また、記述していただいた点については、改めるべき点や皆さんへの周知が足りなかった点等、より一層強いチームワークで保護者の皆さんや地域の皆さんと共に七小の子供たちを育てていけるように善処して参ります。結果の公表は学校評議委員会を経た後の3月を予定しています。

不審者対応避難訓練から

朝霞警察署生活安全課の協力で、不審者対応訓練を11/20(月)に実施しました。対応のポイントは、①一人にならない②知らない人についていかない③大声を出す、防犯ブザーの活用(定期的に電池の確認)④外出のときは家の人に伝えるでした。



↑不審者取り押さえの様子

留守番中の対応についてもご指導をいただきました。インターホンがなったときに返事をしないと、不審者の場合留守宅と判断し、侵入してくることがあるそうです。「お母さんは忙しいので手が離せません」等、家には大人も一緒にいるように答えるのが良いとのことでした。

朝の美化活動

だいが学校の周りも落ち葉であふれるようになりました。美化環境委員会が率先して、落ち葉掃きを行っています。近隣の方々や学校施設利用団体の皆さんにも清掃をいただき、皆で七小の環境を支えてくれていると感じます。ありがとうございます。

ふれあいフェスティバル

11月11日(土)に朝霞第二小学校にてふれあいフェスティバルが行われました。この催しは学校・家庭・地域が一体となって取組を行うことで、地域の教育力を高めることをねらいとした朝霞市のイベントで、各中学校区(七小は二中校区)で毎年行われています。七小はダンスクラブの発表とPTAの出店がありました。他の小学校の発表や二中吹奏楽部の演奏、地域の皆さんのダンスの発表もありました。来年度は七小が担当校となります。



PTAのお店(千本くじ)

ダンスクラブの発表

備蓄米(アルファ-米)の配付

朝霞市では災害に対する備えの一つとして非常用食料を備蓄しています。定期的にその入れ替えをしており今回その一部を試食用としてお譲りいただきました。社会科で関連する学習をしている4年と6年に配付いたします。賞味期限内に試食するようにお願いいたします。

【朝霞市危機管理室より】

- 市が備蓄している食料は、想定避難者の1日分です。皆様も、災害時に備え、最低3日間(推奨1週間)の家庭内備蓄に努めてください。
- 災害に対する日頃からの備えとして、市が発行する防災啓発冊子「あさか防災」をご活用ください。
- 防災行政無線からの放送内容が確認できます。

フリーダイヤル 0800-8000-744

メール配信サービス登録(朝霞市ホームページより)